

第2学年3組 算数科 学習指導案

令和3年9月16日(木) 第2時限 2の3教室

1 単元名 「図を使って考えよう(2)」(3時間完了)

2 本時の指導(1/3時)

(1) 本時の目標

増増の場面の問題を、順に考えたり、増える数に着目してまとめて考えたりする方法を図・式・ことばを使って表現して解くことができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 本時の展開

(学習課題) 子どもが何人になったのかをいろいろな方法で考え、話し合おう

0(分)	10	25	30	40	45
導入	チーム学習①(15分)	確認(5分)	チーム学習②(10分)	振り返り(5分)	
子どもの数の求め方を考え、本時の学習に見通しをもつ。	図から順に考えたり、増える数に着目してまとめて考えたりする方法を図・式・ことばを使い、ホワイトボードにまとめる。	チーム学習で考えた求め方を発表する。順に考える、まとめて考えるの2通りの方法を確認する。	順に考えたり、まとめて考えたりして、2通りの方法を使って、適応問題を解く。	学習課題が達成できたか自分の姿を学びの天気で判断する。	

(3) 主なチーム学習の展開

【チーム学習①】

(発問)「子どもが何人になったのかを2つの式に表そう」

チーム学習の状況を把握するために

・考えを、図・式・ことばを使ってホワイトボードにまとめることができるようにする。

想定されるチームの様子と教師の出

話し合いに参加できていない児童がいる。

・参加できていない児童にどこまで理解できているか確認する。
・全員が説明できるように、お互いに助け合うように促す。

式に表すことはできたが、考え方を説明することができていない。

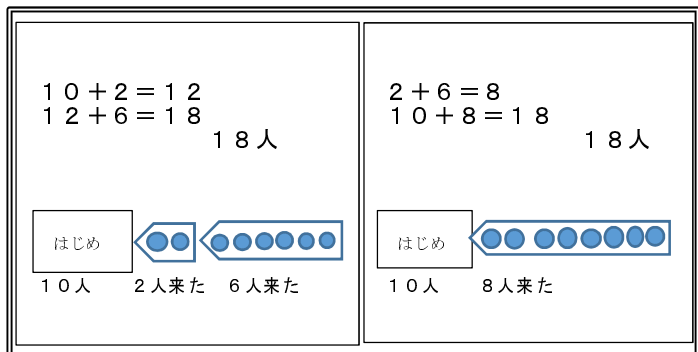
・考えを図・式・ことばを使って、説明することができるように、問題文と式を照らし合わせる。
・図・式・ことばを使って、考えを説明することができているチームと交流するよう促す。

まとめて求める考え方に気づくことができていない。

・増えた人の数に着目させ、ほかにも求め方がないかを問いかける。
・まとめて求める考え方に気づき、解くことができているチームと交流するよう促す。

図・式・ことばを使って、順に考えたり、まとめて考えたりして、2通りの考え方がチーム内で話し合われ、解くことができる。

・式だけでなく、図やことばを使って、そのつながりが分かっていることを確かめ、称賛する。
・他のチームに考えを広めていくために、他のチームへ個を派遣し、考え方を説明してもらうよう促す。



(4) 評価

増増の場面の問題を、図・式・ことばを使って、そのつながりに気づき順に考えたり、増える数に着目してまとめて考えたりするなどして、2通りの求め方で解くことができたか。

(チーム学習①②の児童の発言、振り返りの記述から)